

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	10
事業名	非常備消防経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	2
政策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課		
施策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に消防団が迅速に活動できるよう装備品の整備のほか、危険を伴う消防団活動に対する公務災害補償や的確かつ安全な行動ができるよう消防団員の研修を行うもの。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	消防団員数	93	93		人		98	
2									
3									
4									
5									
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			49,727		7,950		16,905		
財源内訳	直接事業費 A		48,065		5,634		14,589		
	うち一般財源		17,626		5,634		14,589		
人件費(千円) B			1,662		2,316		2,316		
内訳	一般職員(人・千円)		0.23	1518	0.34	2,244	0.34	2,244	
	臨時職員(人・千円)		0.08	144	0.04	72	0.04	72	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	消防資機材及び消防団用装備品の整備拡充及び更新 消防団自動車運転免許取得費等補助金の継続。	③取組の課題	継続的な消防団活動の維持
②R4年度に実施した取り組み	消防団用装備品の拡充(レインウェア)	④今後の改善計画	消防団詰所の改修 消防団自動車運転免許取得費等補助金の継続 R7、2分団消防車両更新